

MONTRAIL AT PLUS

モントレイル / AT プラス



PROFILE

『コンチネンタルディバイド』の 後継モデルとして走破力バージョンアップ

エンデュランス系のレースやトレッキングにも適合する安定感とプロテクション（足周りの保護）を誇るニューモデル。ヒールから拇指球にかけてポストイング（高硬度 EVA）を入れているため、土踏まず部や捻じれに対しても高い剛性を誇る。「どんなに荒れたトレイルでも余裕で走破することができる」（メーカー）。『コンチネンタルディバイド』ユーザーにもお勧めしたいモデルだ。ライナーに『ゴアテックス』を使用した『AT PLUS GTX』もラインナップ。



spec.

重量: 374g (26.0cm, 1/2 ペア) *編集部計測
サイズ: 36 ~ 45
カラー: Stone Green × Burnt Orange
価格: 14,490 円 (本体価格 13,800 円)

Body check!



サーモプラスティックが ホールド力を強化

ナイロンメッシュアッパー側面に貼り付けられたサーモプラスティック・ウェルドアッパー。気象に左右されず柔軟性に富むこのアッパー素材が、障害物とシューズ側面の接触をガードするだけでなく、包み込むようなフィット感を実現してくれる。



EVA ミッドソールが 踵の衝撃を吸収

曲げや捻じれには強いが、縦方向のクッション性はソフト。前足部とヒール部にクッションパッドを加えたデュアルデンシティ・コンプレッションモールドッド EVA ミッドソールによって、踵からの荷重のかかった着地や、ラフな路面からの衝撃を吸収してくれる。



耐摩耗性の補強を加えた 頑丈なトゥガード

トゥからサイド〜ヒールにかけて、アッパー外側を補強するシンセティックレザーによって、トレイルでの障害物からさらに足をガード。さらにトゥは耐摩耗性のあるシンセティックオーバーレイでカバーされていて、岩や石を蹴ってもビクともしない頑強な作り。ハードワークに耐えてくれる。

ABILITY

快適なクッション性と 確実なプロテクション。 山から足を守る ベストパートナー

手にとって触るだけでこのシューズのしっかりした作りがわかる。ソールのセンター（土踏まず下部）は頑強で曲げようにも腰折れしない。アッパーの下部を補強するシンセティックレザーはトレッキングシューズなみにしっかりした厚い素材を使用している。

ただし、トゥ方向は滑らかなカーブを描くようなフレックスを備え、安定感とランニング性能を両立させている。踵からつま先全面に感じ取れるほどよいクッション性も絶妙な緩衝作用を果たしている。歩くというより、路面の感覚を捉えながら走るためのチューニングだと思う。こ

のシューズはトレッキングシューズではない。あくまでもトレイルランニングシューズなのだ。

「着地の安定につながるソールの剛性感」「斜面を選ばない前後左右のグ



リップカ」は表現は異なれどテスターの共通した印象だ。スピードを出して走るのではなく、無駄なく確実にトレイルを進む（走破する）ためのシューズ。エンデュランス（耐久）レースに向き、特に足場の悪いラフな路面

を攻略するモデルとしてスペシャル。

今回のテストには岩場（ガレ場）のシチュエーションはなかったが、テスターの間から『おんたけウルトラトレイル 100K』対応と具体的に名前が挙がるほどアウトソールがしっかりしていて、捻じれなどの剛性感のあるモデル。岩場や石が多いレースコースには適性を発揮するタフなシューズだと想像する。なお、同モデルにはゴアテックス仕様の『AT PLUS GTX』がある。雨のレースや山岳トレッキングシーンでは、オールトレイン（全天候型）モデルとしてマッドな斜面でさらなる力を発揮するだろう。

**全天候 & 地形対応。
トレイルを選ばない
オールトレインモデル**



I M P R E S S I O N



高瀬 第一印象として、つま先部分の保護感を強く感じました。といってもつま先も甲も適度なフィット感でフィットさせても窮屈な締め付け感はない。剛性感は感じますが、歩行・走行ともにクッションがよく衝撃を吸収してくれる。オールマイティな走行性能とトレイルでのグリップ力は申し分なし。

【印象的な特長・優位点】●装着・歩行時のファクター／歩行（走行）時の接地感、ソールのクッション性（ソフト）、ワイドな印象 ●走行時のファクター／ソールの安定感（強度・剛性）、ソールのクッション性（衝撃吸収）、グリップ力（スリッピーな斜面）、プロテクション（足全体の保護）、ロードでのランニング性能 【自分が考える使用シーン】レース（オールマイティ、ロード+トレイル）、ファンランニング、トレッキング（軽登山）



今岡 指周りに余裕がある一方フィット感のよさを感じました。足首周りのホールド感はWホールがあるので好みのフィーリングが選べます。シューセンターに強い剛性感を感じ、ロード向きではないですがトレイルでこの硬さが安定感を生んでいると思います。下りのグリップ力もしっかりしています。

【印象的な特長・優位点】●装着・歩行時のファクター／足入れ感、ワイドな印象 ●走行時のファクター／ソールの安定感（強度・剛性）、グリップ力（スリッピーな斜面）、トーション（捻じれに対する剛性）、プロテクション（足全体の保護）【自分が考える使用シーン】レース（耐久ロング）、ファンランニング、トレッキング（アルプス縦走も可）



山屋 ラフな路面を走っても突き上げ感というのがまったく感じられず、ソール全体で捉えてくれる。下りの左右の動きにも捻じれやブレがなくトレイルをつかむ感じでした。レースなら耐久系として、また、トレイルランをこれから始める方が安心して山に出かけられるシューズじゃないでしょうか。

【印象的な特長・優位点】●装着・歩行時のファクター／歩行（走行）時の接地感、ソールのクッション性（ソフト） ●走行時のファクター／ソールの安定感（強度・剛性）、グリップ力（スリッピーな斜面）、トーション（捻じれに対する剛性）、プロテクション（足全体の保護）【自分が考える使用シーン】レース（耐久ロング）、ファンランニング、トレッキング（軽登山）

MONTRAIL AT PLUS

モントレイル／AT プラス



石田 いい意味で締め付け感がなくとてもゆったりした装着感のあるシューズです。土踏まずの部分は硬いのですが、トゥには適度な柔軟性があり歩きやすい。トレイルランではソールの安定感を生かしたしっかりした着地感を感じました。トレイルのみで使用すべきシューズ。そこで力を発揮します。

【印象的な特長・優位点】●装着・歩行時のファクター／歩行（走行）時の接地感、ワイドな印象 ●走行時のファクター／ソールの安定感（強度・剛性）、トーション（捻じれに対する剛性）、プロテクション（足全体の保護）【自分が考える使用シーン】レース（オールマイティ、ロード+トレイル）、ファンランニング、トレッキング（軽登山）



渡辺 ブロックパターンはトレイル向きです。ロードランを想定したものではない。一方、トレイルにはひとつ上に行く安定感があります。トレイルに不慣れなランナーでも、優れた安定感があるので路面を気にせずガンガン走れるシューズです。捻じれにも強く捻挫もしにくいのではないのでしょうか。

【印象的な特長・優位点】●装着・歩行時のファクター／歩行（走行）時の接地感、ワイドな印象 ●走行時のファクター／ソールの安定感（強度・剛性）、ソールのクッション性（衝撃吸収）、グリップ力（スリッピーな斜面）、トーション（捻じれに対する剛性）、プロテクション（足全体の保護）、トレイル全般でのランニング性能 【自分が考える使用シーン】レース（オールマイティ、ロード+トレイル）、ファンランニング、トレッキング（軽登山）



島田 踵の作りが頑丈でとてもしっかりしたホールド感を感じます。着地時の安定感に関しては他のシューズにない安心感を感じました。剛性感がある分、ホップするような走りにはなりません。走ったり、岩を登ったり下ったり。むしろ、変化のある日本の山岳路にはとても向いたモデルだと思います。

【印象的な特長・優位点】●装着・歩行時のファクター／足入れ感、歩行（走行）時の接地感 ●走行時のファクター／ソールの安定感（強度・剛性）、プロテクション（足全体の保護）【自分が考える使用シーン】ファンランニング、トレッキング（軽登山）

